

空気より重いガス用 **YAZAKI** (お客様用)

一般財団法人 日本ガス機器検査協会検査合格品 (家庭用)

形式名 **YF-551** **都市ガス警報器**

**キャッチャー** **取扱説明書** 保証書付

●都市ガス警報器をお取付いた  
きありがとうございました。  
●この取扱説明書は都市ガス警報器  
の取扱方法を説明します。  
●お使いになる前に、この取扱説明  
書を必ず読んで、内容をご理解し  
た上で取扱ってください。  
●本取扱説明書は、末頁に保証書が  
ついています。取扱説明書はお手  
元に保管し、いつでもご覧いた  
だけるようにしておいてください。  
●本書を紛失されたり、内容に不明  
な点があった場合は、ガス事業者  
または最寄りの矢崎エナジーシ  
ステム株式会社にお問い合わせく  
ださい。

●本警報器は、都市ガスを感じて警報を発するもの  
です。ガス漏れの発生を未然に防止する装置ではなく、  
また、ガス漏れによる損害を防止することを保障する  
ものではありません。ガス漏れなどによる損害につ  
いては、責任を負いかねますのでご了承ください。  
●本警報器は、都市ガスを感じて、ガス漏れを検知す  
るものです。ガス検知部に都市ガスが到達しない場合  
は、ガス警報機能が働きます。

【日常点検のお願い】  
警報器が故障したり有効期限が過ぎたとき  
はランプが点滅してお知らせします。燃焼  
器をお使いになる前にランプを点検してく  
ださい。ランプが点滅をしていたら  
(4. 5ページ参照)、最寄りのガス事業者  
にご連絡ください。

**ご使用になる前に**

警報器を正しくお使いいただくため、あなたや他の人々への  
危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説  
明書にはいろいろな絵表示をしており、その表示と意味は次  
の通りです。本文をお読みになる前にご確認ください。

<b>危険</b>	この表示を無視して誤った取扱いをする と、使用者が死亡または重傷を負う危険 が切迫して生じる場合が想定されること を表しています。
<b>警告</b>	この表示を無視して誤った取扱いをする と、使用者が死亡または重傷を負う可能 性が想定される場合を表しています。
<b>注意</b>	この表示を無視して誤った取扱いをする と、使用者が傷害を負う可能性が想定さ れる場合及び物的損害のみの発生が想定 される場合を表しています。
	一般的な禁止
	火気厳禁
	触れるな
	分解禁止
	必ず行う

**1. 各部の名称とはたらき**

①ランプ及び点検/警報停止スイッチ  
・電源を入れてから約40秒間ランプが点滅します。(警報器の  
安定時間)  
・通常はランプが赤色点灯しています。  
・ガスを検知すると赤色点滅します。  
・監視時に5秒間押し続けますと、警報プザーとランプ(点滅)  
の作動確認、併せて外部出力信号を出力します。  
・ガス警報時に押すと、警報プザーが約5分間停止します。

②警報プザー  
・ガスを検知すると鳴動します。  
(高齢者にも聞き取りやすい低音を含む)

③ガス検知部(点検口)  
・ガスを検知します。  
・点検ガスをかけてチェックします。

④有効期限シール  
・警報器の有効期限が表示されています。

⑤電源プラグ  
・最大1490Wまでの他の電気器具と共用できる予備コン  
セント付きです。  
・日本ガス機器検査協会の検査に合格したことを示します。

⑥端子カバー  
・外部出力信号用端子が収納されています。

**2. 警報器の機能について**

**ガス警報機能**  
「都市ガスがもれたときは」  
警報器周囲の都市ガス濃度が  
規定値以上になると、ランプ  
が点滅し外部出力信号がDC  
6VからDC12Vになります。  
さらにガス濃度が約25秒間  
続くと警報プザーが鳴り始め  
ます。

**鳴りやみタイミングお知らせ機能**  
作動点検後にガス検知部周囲のガス濃度が低くなってく  
ると下図のようにランプの点滅及び警報プザーの鳴動間隔を  
変化させ、警報が鳴りやむタイミングをお知らせします。  
※ガス検知部周囲のガス濃度が急激に低下した場合は、鳴  
りやみタイミングお知らせ機能が動作しない場合があり  
ます。

**＜ランプ及び警報プザー動作＞**

ガス警報	ランプ点灯 ランプ消灯 警報プザー	0.3秒 1.1秒	高 中 低
鳴りやみ タイミング お知らせ 警報	ランプ点灯 ランプ消灯 警報プザー	1.7秒	低
監視	ランプ点灯 ランプ消灯 警報プザー	3秒後に 明るく2回点灯	ガスなし

**有効期限お知らせ機能**  
「警報器の有効期限が過ぎたときは」  
警報器の有効期限が過ぎると  
ランプが右図のようにゆっくり  
点滅します。  
ランプの速い点滅は止まりません。  
警報器が正常に作動しない恐  
れがありますので、お求めのガ  
ス事業者に連絡し、警報器を  
交換してください。

※出荷時是有効期限お知  
せ機能の設定は「あり」と  
なっています。  
※有効期限お知らせ機能の  
切替は何度でも可能です。  
お客さま自身で有効期限  
お知らせ機能を解除され  
た場合は、お求めのガス事  
業者の有効期限お知らせ  
機能を解除した旨をお伝  
えください。  
※長時間コンセントが抜  
かれていた場合、有効期限  
お知らせ時期が延びるこ  
とがあります。

**故障しているときは**  
故障が発生すると『ピッピッピ』が1回鳴り、ランプが速い点  
滅となります。その後は、『ピッピッピ』と約1分毎に繰り返し  
鳴ります。  
スイッチを押すことにより故障音は約36時間停止します。  
ランプの速い点滅は止まりません。  
※ガス事業者までご連絡ください。  
※外部機器と連動している場合、故障音停止中は外部機器の  
連動動作は停止します。

**3. 使用方法**  
(1) 警報器の電源プラグをコンセントに差し込んで下さい。  
(2) 3秒後にランプが1回もしくは2回明るく光り、有効期限  
お知らせ機能の設定を表示します。  
(3) 有効期限お知らせ機能の設定表示後(電源を入れてから約  
5秒後)、ランプが点滅し始めます。  
(4) ランプが約35秒間点滅した後(電源を入れてから約40  
秒後)ランプが点滅から点灯に変わり監視状態となります。

＜注意＞  
・電源を入れてから約40秒間は、ガスがかかっても作動し  
ません。  
・電源を入れてから約40秒後に『ピッピッピ』と鳴り、  
ランプが速い点滅をした場合は、警報器が故障している  
のでお求めのガス事業者までご連絡ください。  
・システム異常(外部出力信号が約OVとなっている)の場  
合は、ガス事業者までご連絡ください。外部出力信号は、  
警報器に電源が入っていない場合、警報器が故障している  
場合、または信号線が断線している場合OVになります。

**4. 警報プザーが「鳴った」ときの処置**

ガス警報音が鳴っている部屋にいるときは

- ドアや窓を開けて、換気する。
- ガス栓や器具栓を閉める。
- ガスがなくなれば、ガス警報音が鳴りやむ。
- ガス漏れの原因を調べる。
- ガス栓や器具栓を閉める。
- ガス漏れの原因を調べる。

部屋の外からガス警報音に気づいたときは

- 部屋に入らない。
- ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。
- ガスがなくなれば、ガス警報音が鳴りやむ。
- 部屋に入り、警報器のランプが点滅から点灯に変わっていることを確認する。
- ガス栓や器具栓を閉める。
- ガス漏れの原因を調べる。

処置をしてもガス警報音が鳴りやまないときは

ガス事業者へ連絡する。HELPIII

《お願い》たびたびガス警報音が鳴るときは、  
ガス機器の点検を受けてください。(有償)

※警報器と各種外部機器を接続している場合  
警報器のランプが点滅し外部出力電圧(12V)が出力され  
ると、外部機器が異常の表示を行います。  
外部機器には、異常の表示から警報音が鳴るまでに数十  
秒間の遅延が設けられている場合があります。  
※警報器と戸外プザーを接続している場合  
警報器のランプが点滅し外部出力電圧(12V)が出力され  
ると、30～60秒間後に戸外プザーが鳴ります。  
ガスがなくなると同時に警報器及び戸外プザーが鳴りや  
みます。

**保証書**

製品名 **都市ガス警報器 キャッチャー**

このたびは、都市ガス警報器 **キャッチャー** をお取付  
けいただき、まことにありがとうございます。  
この保証書は、本製品の保証期間において取扱説明書  
に基づいた正常な使用状態で異常、故障が発生した場  
合、本書記載内容にて無償点検、あるいは無償取替え  
を行うことをお約束するものです。

形式	YF-551 (空気より重いガス用)
製造番号	
お取付年月日	年 月 日
保証期間	お取付年月日より <b>5年</b> 間
お客さま	ご住所
	お名前
販売店	電話 ( )
	住所・店名

矢崎エナジーシステム株式会社

発売元(本社) 〒108-0075 東京都港区港南一丁目8番15号Wビル7F  
製造元(天電工場) 〒431-3393 静岡県浜松市天竜区二俣町南島23番地 TEL:053-925-4111  
(株)聯合社 〒431-3393 静岡県浜松市天竜区二俣町南島23番地 TEL:053-925-4511

販売元及び製造元 (キリトリ線)

**矢崎エナジーシステム株式会社**

お客様ご相談窓口

ガス機器事業部	053(925)4511
[北海道] 札幌	011(852)2914
[東北] 仙台	022(284)9114
[関東] 東京	03(5782)2702
	埼玉 048(654)2071
[中部] 名古屋	052(769)1532
	静岡 054(283)1151
[関西] 大阪	06(6458)8185
[中国] 広島	082(568)7802
[四国] 高松	087(833)3335
[九州] 福岡	092(411)4834

※機器に異常がある場合は、ご自分で修理なさらずにガス事業者、  
または最寄りのお客さまご相談窓口にご相談ください。  
なお、当社ホームページにおいても案内申し上げます。  
URL: https://www.yazaki-group.com  
※電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

766831-6-303

**危険** 火や火花により、もれたガスに引火して爆発  
する危険があります。

●ガス警報音が鳴っている時は火気は絶対に使用しないで  
ください。

●ガス警報音が鳴り終わらないうちに電源プラグを引き抜  
かないでください。

●ガス警報音が鳴っている時に換気をする場合は、電灯のス  
イッチをON/OFFしたり、換気扇・扇風機などの使用は危険  
ですから絶対にしないでください。

●火気厳禁

●触れるな

●分解禁止

●必ず行う

●ガス警報音が鳴っている時に換気をする場合は、電灯のス  
イッチをON/OFFしたり、換気扇・扇風機などの使用は危険  
ですから絶対にしないでください。

●禁止

●禁止

●禁止

**ガス警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因について**

以下の原因が考えられますので、調べてください。

- 建材などから発生する揮発性成分の作用によりガス警報  
しやすくなる場合があります。また、まれにガス警報し  
続けることがあります。
- スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを警報器にかけた  
りませんか。
- 芳香剤・香油(アロマオイル)などの濃いガスが警報器  
にかかっていませんか。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用していま  
せんか。
- アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が高濃度  
になっていませんか。
- フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用し  
ていませんか。
- 長時間、部屋を閉め切っていませんか。
- 可燃性のガスなどを使用していませんか。
- 警報器の通常の電圧範囲はAC90～110Vです。  
それ以外で使用していませんか。
- ガスコンロの着火ミスがありませんか。
- 自動車の排気ガスが室内にこもっていませんか。
- 炭火や練炭を使用していませんか。
- 換気扇を回さずに大鍋(業務用など)で湯を沸かして  
いませんか。

点火初期時に一酸化炭素が発生し、警報を発することが  
あります。

**お願い**

- ガス漏れ以外でも空気が汚れた場合などにも、ランプ  
が点滅したり、警報プザーが鳴る場合がありますが、  
すぐに鳴り止みますので警報器の電源プラグは抜か  
ないでください。

**5. 噴霧式殺虫剤を使用される時のおお願い**

●警報器が噴霧式殺虫剤の噴射ガスに反応して警報する場  
合があります。次の処置を行っていただくと、警報器の  
作動を防ぐのに効果があります。

(1) コードを巻取部から引き出して伸ばし、安定した所に  
置ける場合には、下記の手順で処置してください。

用意していただくもの

- ・ポリ袋 ポリプロピレン(PP)またはPP<表示)が好ましいです  
が、ポリエチレンでも一定の効果があります。  
大きさは、30cm×40cm程度が適当です。
- ・輪ゴム3本
- ・接着テープ 壁面の状況に応じた接着テープ

①警報器を取外し、コード止めから電源コードを外して伸  
ばしながら、安定するところに置いてください(電源プ  
ラグは抜かないでください)。  
②警報器にポリ袋1枚をかぶせて、ポリ袋内に噴射ガスが  
入るのを防ぐため、電源コード部分で密閉できるように  
ひもなどで縛ってください。ポリ袋の開口部分は、電源  
コードとの間に隙間ができないように接着テープなどを  
巻いてください。  
③ポリ袋を傷めないように、安定するところに置いてく  
ださい。

開口部分を  
接着テープで巻く

ひもで縛る

(2) 上記(1)の方法で処置できない場合は、次の手順で処置  
してください。

用意していただくもの

- ・ポリ袋 ポリプロピレン(PP)またはPP<表示)が好ましいです  
が、ポリエチレンでも一定の効果があります。  
大きさは、30cm×40cm程度が適当です。
- ・輪ゴム3本
- ・接着テープ 壁面の状況に応じた接着テープ

①ポリ袋を輪ゴムで警報器のコード巻取部で止めてくださ  
い。輪ゴムは1本では弱いので3本程度使用し、しっか  
りと止めてください。  
②ポリ袋と壁の隙間から噴射ガスが入るのを防ぐため、ポリ  
袋の端を接着テープで壁面に貼付けてください。ただ  
し、壁面などの状況により貼付けできない場合は輪ゴム  
で止めておくだけでも一定の効果があります。  
・ポリ袋がしわになっている部分や電源コードが通って  
いる部分に特に注意し、ポリ袋と壁面の間に隙間ができ  
ないようにしてください。  
・接着テープは壁面の状況に応じて、接着しやすく、また  
剥がすときに壁面などを傷めないようにしてください。

ポリ袋を前面から覆い被せる

輪ゴム3本で止める

接着テープで周囲を貼る

電源コード部分に隙間ができないように

**警告**

●噴霧が終わり、換気した後、忘れずにポリ袋を取除いてく  
ださい。

●電源プラグは抜かないでください。

●禁止

●禁止

●警報器が外部機器(インターホンなどの集中監視機器)  
と接続されている場合は、警報器の電源プラグを抜い  
たりすると、外部機器で警報(故障表示)する場  
合があります。

**注意**

●壁掛型警報器は、強く引っ張ると取付けている取付板、木  
ネジが抜けたり、警報器が外れたりして落下する恐れがあ  
ります。

●禁止

**お願い**

●警報器への影響を少なくするため、部屋の広さに応じた容  
量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。また、警報器の真下  
での噴霧は避けてください。  
●ポリ袋で覆っても次のような場合は警報器が作動するこ  
とがあります。  
事前に住宅管理者やご近所の方に殺虫剤の使用を連絡し  
ておいてください。  
・ポリ袋と壁面の間に隙間がある場合。また、ポリ袋に破  
れや穴がある場合。  
・部屋の広さに比べて極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤  
を使用した場合。  
・警報器をポリ袋で覆う前に石油系溶剤、アルコール類な  
どを使用されていた場合。(ガス検知部に影響を与える  
成分が封じ込められるため)  
・経年変化によりガス検知部が敏感になっている場合。

**6. 定期点検**

(1) 日常点検  
日常、ランプが点灯して  
いることを確認してく  
ださい。

(2) 作動点検  
スイッチを5秒間押し続けますと、約5秒間警報プ  
ザーが『ピッポッピッポッ』と鳴動します。  
同時にランプが点滅し、外部出力信号がDC6Vから  
DC12Vになります。  
約1分後に「ピー」と終了音が鳴り、監視状態に戻り  
ます。  
※1分以内に点検を終了したい場合は、スイッチを押すと  
「ピー」と鳴り、即時に終了します。

**注意**

●この点検を行った場合、外部出力信号を出力しますの  
で、外部機器と連動している場合はご注意ください。

**7. 使用上のご注意**

**警告**

- 落下させたり、衝撃を与えないでください。  
故障の原因となります。
- 警報器電源プラグを抜かないでくだ  
さい。ガス漏れが発生しても警報し  
ません。
- 電源プラグは、ほこりが付着してい  
ないか確認し、ガタつきのないよう  
に根元まで確実に差し込んでくだ  
さい。ほこりが付着したり、接続が不  
完全な場合は、感電や火災の原因に  
なります。
- 電源コードにはステッフルや釘など  
を打たないでください。火災の原因  
になります。
- ぬれた手で警報器の取付け、取外し  
作業は行わないでください。  
感電する恐れがあります。
- 常に通電されていること(ランプ点灯)を確認してく  
ださい。通電されていない場合は、ガス漏れが発生して  
もガス警報を発しません。
- 噴霧式殺虫剤を使用するときは以下の内容を必ず守つ  
てください。誤作動の原因となります。(P9～12参照)  
・警報器をポリ袋などで覆う。  
・噴霧が終わったら、換気した後、必ずポリ袋を  
取除く。

●禁止

●禁止

●禁止

●禁止

●禁止

●禁止

### 保証規定

- 1.表記の保証期間内に正常なご使用状態において、異常が認められた場合には、お申し出により無償点検あるいは、無償取替えをいたします。
- 2.次のような場合には、保証期間内でも有償点検あるいは、有償取替えとなります。
  - ①本製品に異常が認められない場合。
  - ②取扱説明書に基づかずに使用し、故障または損傷した場合。
  - ③火災・天災・異常電圧・異常温度などの不可抗力による故障または損傷。
  - ④取付位置が浴室・屋外・高温多湿など著しく不適当な場所で使用した場合の故障または損傷。
  - ⑤お取付け後、分解や改造などをされた場合の故障または損傷。
  - ⑥お取付け後の取付場所の移動、落下などによる故障または損傷。
  - ⑦水や煮こぼれなどの液体、または動植物による故障または損傷。
  - ⑧本保証書のご提示がない場合。
- 3.本書は日本国内のみにおいて有効です。
- 4.なお、この保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

### お願い

- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 本警報器の保証期間はお取付年月日より5年間です。警報器は保安機器であり、お取付け後5年を過ぎたものは、是非新しいものとお取替えください。

お取替え予定日 年 月 日

### △注意

次のところには取付けしないでください。故障や警報遅れの原因になります。

- 浴室用ではありませんので、浴室には取付けしないでください。

●風とおしのよい場所  
振動する場所

禁止

●水のかかる場所  
水滴のつく場所

禁止

●煮物の汁や油がかりやすい場所

禁止

●台所設備などでさざがられる場所

禁止

●使用時しか電源を入れないところ(ビルなどの給湯室で、夜間電源を切るころ)

禁止

●温度が-10℃～50℃の範囲をこえるところ

禁止

●警報器としての機能を果たしません。誤動作の原因になります。

●屋外

禁止

屋外用ではありません。

### △注意

- 取付位置を移動させないでください。ガス警報の遅れの原因となります。取付位置を変更する必要があるときは、ガス事業者にご相談ください。
- 警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。ガス警報の遅れの原因となります。
- 警報器の近くでラジオなどを使用しないでください。ラジオなどにノイズ(雑音)が入ることがあります。警報器から距離を離してお使いください。

### △注意

- お手入れするときは、中性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。警報器の表面に傷がついたり、警報器が鳴りやまないことがあります。
- 警報器を水につけたり、水をかけたりしないでください。ショックや感電の恐れがあります。
- 設置後、5年(有効期限)を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取替えください。正常に作動しない恐れがあります。有効期限シールに示しています。
- 屋外用ではありませんので、屋外では使用できません。
- 停電時は作動しません。また、はじめてお使いの場合や、停電後は電源を通じてから約40秒間は作動しません。なお約40秒後ランプが点滅する場合がありますが、しばらくするとランプ点灯になります。
- 警報器は多少温かくなりますが、異常ではありません。(通電によりセンサ部を加熱して使用するため)

### 13. 取付方法

#### 《お願い》

- ・付属品の確認
  - ・部品イラストや図などを参照して、付属品名、個数、用途などを確認してください。
  - ・取付位置の確認
- 取付位置の壁面の材質、強度を確認し、土壁、強度の弱い合板などには取付けしないでください。

■付属品

- ・コード振れ止め(3コ)
- ・点検ガス(1コ)
- ・ホネジ(3コ)(コード振れ止め用)
- ・コネクタ(1コ)

■別売品

- ・取付板(1コ)
- ・ホネジ(2コ)(取付板固定用)

■取付方法

(1) 既築家屋の場合

- ホネジによる取付け

- ①取付位置を確認してください。(壁面の材質、強度およびAC100Vのコンセント位置)
- ②取付板をホネジ(長さ16mm)で壁面に固定します。
- ③電源コードをコンセントまでの長さにあわせて取出します。(最長2.5m)
- ④コードをフックに引っ掛けて固定します。
- ⑤警報器裏面の取付板引掛穴に引っ掛けて取付けます。
- ⑥電源コードを付属のコード振れ止め処理してください。(市販のステップルや釘は使用しないでください。)

コードをフックに引っ掛けてから下の突起を押し込む

上を引っ掛けてからの突起を押し込む

コードをフックに引っ掛けて固定する

上を引っ掛けてからの突起を押し込む

コードをフックに引っ掛けて固定する

上を引っ掛けてからの突起を押し込む

### 8. 予備コンセントの使用法

#### △注意

- 警報器以外の電気製品を同時にご使用になる場合は、警報器のプラグは抜かず、警報器のプラグに付属している予備コンセント(アドオンプラグ)をご利用ください。ただし、接続できる電気製品は1490W以下です。1490Wを超えると火災発生の恐れがあります。

●警報器のプラグに付属している予備コンセント(アドオンプラグ)を使用するときは、接続する電気製品の電源スイッチを必ず「切(OFF)」にしてから接続してください。

●警報器のプラグ、他の電気製品のプラグがコンセントに確実に接続されていないと、プラグ部分が加熱し、焼損する場合があります。

●接続した他の電気製品のプラグを抜く時に、手前にこじって引き抜いたりしないでください。プラグ部が破損する場合があります。

●警報器のプラグに付属している予備コンセント(アドオンプラグ)に接続するときは、警報器のプラグに大きな力がかからないようにしてください。プラグ部分が外力により破損する場合があります(例えば掃除機などの移動して使用する電気製品を接続することや、頻繁に抜き差しすることはおやめください)。

●警報器のプラグに付属している予備コンセント(アドオンプラグ)に接続するときは、警報器のプラグに大きな力がかからないようにしてください。プラグ部分が外力により破損する場合があります(例えば掃除機などの移動して使用する電気製品を接続することや、頻繁に抜き差しすることはおやめください)。

●警報器のプラグに付属している予備コンセント(アドオンプラグ)に接続するときは、警報器のプラグに大きな力がかからないようにしてください。プラグ部分が外力により破損する場合があります(例えば掃除機などの移動して使用する電気製品を接続することや、頻繁に抜き差しすることはおやめください)。

●警報器のプラグに付属している予備コンセント(アドオンプラグ)に接続するときは、警報器のプラグに大きな力がかからないようにしてください。プラグ部分が外力により破損する場合があります(例えば掃除機などの移動して使用する電気製品を接続することや、頻繁に抜き差しすることはおやめください)。

### 9. 異常と思った場合の処置

#### △注意

●電源プラグがコンセントに差し込まれていませんか?

電源プラグをコンセントに差し込んでください。

●電源ブレーカーが切れていませんか?

ブレーカーを入れてください。

●停電していませんか?

停電でなければ、警報器の故障が考えられますので、ガス事業者に連絡してください。

●警報器が温かくなっている。

通電により、センサ部を加熱しています。異常ではありません。

●ランプが消灯している。

ガス事業者に連絡してください。点検/警報停止スイッチを押すと警報ブザーを約36時間止めることができます。

●警報器が温かくなっている。

ガス事業者に連絡してください。

●ランプが速い点滅となっている。

ガス事業者に連絡してください。

●ガスもれではないのに、ランプが点滅したり、警報ブザーが鳴る。

原因を調べてください(P8参照)

ドアや窓を開け、しばらく換気を続けてください。ランプや警報ブザーが止まります。鳴り止まない場合はガス事業者へ連絡してください。(有償)

●ガス機器の異常が考えられます。

ガス事業者に連絡し、ガス機器の点検を受けてください。(有償)

●ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。

それらの機器も点検を受けてください。

### 10. アフターサービスについて

●この警報器の保証期間は取付日から5年間とし、保証期間中に故障が起きた場合には無償で正常作動品と交換いたします。ただし、保証書記載の保証の適用除外の項目に該当する場合はこの限りではありません。保証書を参照ください。

●保証書にお取付年月日及び販売店名のご記入のないものは無効となる場合がありますので、お取付け時にご確認ください。

●保証書は大切に保管してください。

●この警報器の有効期限は、お取付けの5年後です。有効期限とは警報器の所定の性能を維持できる期限であり、5年を経過したものは、規定の警報濃度でガス警報しないなど誤作動の恐れがありますので、新しい警報器とお取替えください。※有効期限を経過した警報器は、ガス事業者が引き取って適切に処理いたします。ガス事業者にお渡しください。

●作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。

●転居する場合は、お買い求めのガス事業者に連絡し、警報器の扱いについてご確認ください。

●アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、ガス事業者または最寄りの矢崎エンジニアリング株式会社にお問い合わせください。

●この警報器は都市ガス(空気より重いガス用)専用の警報器です。

●都市ガス(空気より重いガス用)供給区域外ではお使用にならないでください。

●この警報器は都市ガス(空気より重いガス用)専用の警報器です。

●都市ガス(空気より重いガス用)供給区域外ではお使用にならないでください。

### 11. 仕様

項目	仕様
型式(商品名)	YF-551(都市ガス警報器)
対象ガス	都市ガス(空気より重いガス用)
警報ガス濃度	爆発下限濃度の1/4以下
検知方式	接触燃焼式
警報方式	ランプ・ブザー音(自動復帰式)約25秒後に警報音「ピッポッピッポッ・・・」の繰り返し
応答時間	60秒以内
外部出力信号	有電圧出力2段階有電圧2線式監視時DC6V 警報時DC12V電源OFF時・故障時0V
警報音量	70dB/m以上
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	監視時 約0.8W 点検モード機能 故障診断機能 鳴り止めタイミングお知らせ機能 有効期限お知らせ機能
付属機能	通電初期警報防止機能 点検モード機能 故障診断機能 鳴り止めタイミングお知らせ機能 有効期限お知らせ機能
使用温度範囲	10℃～50℃(結露しないこと)
寸法・質量	高さ117×幅74×奥行43(mm)約260(g)

※爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。

その範囲を爆発限界といい、最高濃度を爆発上限、最低濃度を爆発下限といいます。

#### △注意

- この警報器は都市ガス(空気より重いガス用)専用の警報器です。
- 都市ガス(空気より重いガス用)供給区域外ではお使用にならないでください。

### 施工される方へ

### 12. 取付位置(取付位置の選定はお客様さまとよく相談して行ってください)

△警告

取付けは、ガス事業者が行いますので、ご自分で取付けや移動は行わないでください。

△警告

壁面または台所設備の端より、ガスセンサーは1cm以上壁面または台所設備から離して取付けてください。

警報が遅れたり、誤報の原因になります。

#### △注意

- 都市ガスを検知しようとするガス機器を設置している場所と同一の室内に設置してください。
- 都市ガスが滞留しやすい位置で、ランプの確認しやすい位置、容易に点検できる場所へ取付けてください。
- 都市ガスを検知しようとするガス機器(一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合は、ガス栓)から水平距離4m以内、床から高さ30cm以下にしてください。

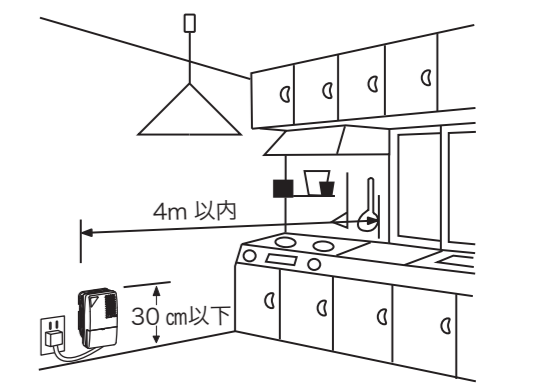
●床置きはしないでください。

●逆さ付けはしないでください。

禁止

### 取付例

- 漏れたガスは下にたまりやすから、床から高さ30cm以下、速い燃焼器具の端から水平距離4m以内でガスのたまりやすい所に取付けてください。



●床置きはしないでください。

●逆さ付けはしないでください。

禁止

●床置きはしないでください。

●逆さ付けはしないでください。

禁止

●床置きはしないでください。

●逆さ付けはしないでください。

禁止

●床置きはしないでください。

●逆さ付けはしないでください。

禁止

### 14. 外部機器との接続

①警報器の正面下部の端子カバーをはずしてください。端子カバーの溝にマイナスドライバーを差し込んでまわすと端子カバーははずれます。

(2) コンジト配線の場合

- 1個用スイッチボックス(JIS C8336)への取付け。

- ①信号線用とAC100V用の1個用スイッチボックスを設置しておきます。
- ②取付板をM4皿ビス(市販品)を使用して図のように取付けます。
- ③警報器を取付板に取付けてください。

1個用スイッチボックス(JIS C8336)

M4皿ビス(市販品)

コネクタ(外部機器との接続用)

取付板

取付けピッチ83.5mm

ボックス(信号線用)

壁

警報器取付板

コンセント(AC100V用)

②下ケースの切欠き部をニッパーやラジオペンチなどで切り欠いてください。

③端子カバー内側の端子表示を参照して信号線をプラスドライバーを使用して接続してください。付属のコネクタを使用する場合は下図のように白色(+)極、灰色(-)極としてください。

④接続が終了したら、信号線を切欠き部より取り出し端子カバーを付けてください。付属のコネクタを使用し接続した場合は、コネクタ部を端子カバー内に納めてください。

⑤接続が終了したら、信号線を切欠き部より取り出し端子カバーを付けてください。付属のコネクタを使用し接続した場合は、コネクタ部を端子カバー内に納めてください。

⑥接続が終了したら、信号線を切欠き部より取り出し端子カバーを付けてください。付属のコネクタを使用し接続した場合は、コネクタ部を端子カバー内に納めてください。

⑦接続が終了したら、信号線を切欠き部より取り出し端子カバーを付けてください。付属のコネクタを使用し接続した場合は、コネクタ部を端子カバー内に納めてください。

⑧接続が終了したら、信号線を切欠き部より取り出し端子カバーを付けてください。付属のコネクタを使用し接続した場合は、コネクタ部を端子カバー内に納めてください。

⑨接続が終了したら、信号線を切欠き部より取り出し端子カバーを付けてください。付属のコネクタを使用し接続した場合は、コネクタ部を端子カバー内に納めてください。

### 15. 作動点検

④接続が終了したら、信号線を切欠き部より取り出し端子カバーを付けてください。付属のコネクタを使用し接続した場合は、コネクタ部を端子カバー内に納めてください。

△警告

信号線を端子カバーではさまない様に注意してください。

接続できる機器

戸外ブザー	YP-514
集中監視盤	AAPO18

※有電圧出力信号は、接続機器(集中監視盤などの)の負荷の抵抗値が1.2kΩ～50kΩである事が接続の際の必要条件です。

(1台の警報器に対し、戸外ブザーは1台のみ接続可能です。)

△注意

- 信号線の接続は確実に行ってください。
- 信号端子には極性がありますので注意してください。
- 有電圧出力信号(+)(-)が逆に接続されている場合、もしくは接続機器の負荷抵抗値が適正でない場合は電源投入時ランプが早く点滅し、1分毎に「ピッピッ」と警報ブザーが鳴ります。接続状態、接続機器仕様を確認してください。
- 外部機器の取付けには専門知識が必要ですのでガス事業者にお任せください。
- FG線は大地接地しないでください。(電力会社の保安点検に合格しないことがあります。)
- FG線は雷のノイズから機器を守るためのものです。ご使用する場合は、接続機器の取扱説明書及び取付説明書をご覧ください。
- 信号線の延長距離は900mまで可能です。0.8mm以上の単線または0.5mm<sup>2</sup>以上のより線を使用した場合、1500mまで可能です。
- マイコンガスメーターに直接接続しないでください。メーターが故障します。

有電圧出力

(+) (-) 警報器側端子部

(+) (-)

FG線を有するシステム機器の場合に使用(FG端子コントローラーなど)

戸外ブザー/集中監視盤などへ

有電圧出力

(+) (-) 警報器側端子部

(+) (-)

FG線を有するシステム機器の場合に使用(FG端子コントローラーなど)

戸外ブザー/集中監視盤などへ

有電圧出力

(+) (-) 警報器側端子部

(+) (-)

FG線を有するシステム機器の場合に使用(FG端子コントローラーなど)

戸外ブザー/集中監視盤などへ

有電圧出力

(+) (-) 警報器側端子部

(+) (-)

FG線を有するシステム機器の場合に使用(FG端子コントローラーなど)

戸外ブザー/集中監視盤などへ

有電圧出力

(+) (-) 警報器側端子部

(+) (-)

FG線を有するシステム機器の場合に使用(FG端子コントローラーなど)

戸外ブザー/集中監視盤などへ

有電圧出力

(+) (-) 警報器側端子部

(+) (-)

FG線を有するシステム機器の場合に使用(FG端子コントローラーなど)

戸外ブザー/集中監視盤などへ

### 16. 作動点検

④接続が終了したら、信号線を切欠き部より取り出し端子カバーを付けてください。付属のコネクタを使用し接続した場合は、コネクタ部を端子カバー内に納めてください。

△警告

信号線を端子カバーではさまない様に注意してください。

接続できる機器

戸外ブザー	YP-514
集中監視盤	AAPO18

※有電圧出力信号は、接続機器(集中監視盤などの)の負荷の抵抗値が1.2kΩ～50kΩである事が接続の際の必要条件です。

(1台の警報器に対し、戸外ブザーは1台のみ接続可能です。)

△注意

- 信号線の接続は確実に行ってください。
- 信号端子には極性がありますので注意してください。
- 有電圧出力信号(+)(-)が逆に接続されている場合、もしくは接続機器の負荷抵抗値が適正でない場合は電源投入時ランプが早く点滅し、1分毎に「ピッピッ」と警報ブザーが鳴ります。接続状態、接続機器仕様を確認してください。
- 外部機器の取付けには専門知識が必要ですのでガス事業者にお任せください。
- FG線は大地接地しないでください。(電力会社の保安点検に合格しないことがあります。)
- FG線は雷のノイズから機器を守るためのものです。ご使用する場合は、接続機器の取扱説明書及び取付説明書をご覧ください。
- 信号線の延長距離は900mまで可能です。0.8mm以上の単線または0.5mm<sup>2</sup>以上のより線を使用した場合、1500mまで可能です。
- マイコンガスメーターに直接接続しないでください。メーターが故障します。

有電圧出力

(+) (-) 警報器側端子部

(+) (-)

FG線を有するシステム機器の場合に使用(FG端子コントローラーなど)

戸外ブザー/集中監視盤などへ

有電圧出力

(+) (-) 警報器側端子部

(+) (-)

FG線を有するシステム機器の場合に使用(FG端子コントローラーなど)

戸外ブザー/集中監視盤などへ

有電圧出力

(+) (-) 警報器側端子部

(+) (-)

FG線を有するシステム機器の場合に使用(FG端子コントローラーなど)

戸外ブザー/集中監視盤などへ

有電圧出力

(+) (-) 警報器側端子部

(+) (-)

FG線を有するシステム機器の場合に使用(FG端子コントローラーなど)

戸外ブザー/集中監視盤などへ

有電圧出力

(+) (-) 警報器側端子部

(+) (-)

FG線を有するシステム機器の場合に使用(FG端子コントローラーなど)

戸外ブザー/集中監視盤などへ

有電圧出力

(+) (-) 警報器側端子部

(+) (-)

FG線を有するシステム機器の場合に使用(FG端子コントローラーなど)

戸外ブザー/集中監視盤などへ

### 17. 外部機器と連動した場合の注意点及び点検方法

④接続が終了したら、信号線を切欠き部より取り出し端子カバーを付けてください。付属のコネクタを使用し接続した場合は、コネクタ部を端子カバー内に納めてください。

△警告

信号線を端子カバーではさまない様に注意してください。

接続できる機器

戸外ブザー	YP-514
集中監視盤	AAPO18

※有電圧出力信号は、接続機器(集中監視盤などの)の負荷の抵抗値が1.2kΩ～50kΩである事が接続の際の必要条件です。

(1台の警報器に対し、戸外ブザーは1台のみ接続可能です。)

△注意

- 信号線の接続は確実に行ってください。
- 信号端子には極性がありますので注意してください。
- 有電圧出力信号(+)(-)が逆に接続されている場合、もしくは接続機器の負荷抵抗値が適正でない場合は電源投入時ランプが早く点滅し、1分毎に「ピッピッ」と警報ブザーが鳴ります。接続状態、接続機器仕様を確認してください。
- 外部機器の取付けには専門知識が必要ですのでガス事業者にお任せください。
- FG線は大地接地しないでください。(電力